

第1講座	「選別」の時代、幼稚園経営の分岐点 幼稚園経営の分岐点となる外部環境を交えて示唆しつつ、経営戦略の手段としての認定こども園移行についてお伝えしてまいります。 講座 抜粋 ▶ 昨今の幼保業界を取り巻く外部環境と幼稚園経営の未来 ▶ 経営戦略としての認定こども園移行	株式会社船井総合研究所 教育支援部 リーダー 高橋 叡功
第2講座	ゲスト講座 事例から学ぶ、認定こども園移行と運営安定化 認定こども園への移行から運営安定化までの事例をお話しいただきます。 講座 抜粋 ▶ 幼稚園文化を残したままの認定こども園移行の進め方 ▶ 建て替えをせずに認定こども園をする際の障壁と解決策 ▶ 認定こども園移行に関して苦労した点 ▶ 認定こども園移行後の障壁と運営のコツ・意識していること ▶ 今後の法人・園としての展望	特別ゲスト講師 学校法人 横須賀学園 理事長 竹折 貴子氏
第3講座	成功事例に学ぶ! 認定こども園「運営安定化」の戦略ロードマップ ゲスト講座を踏まえ、認定こども園移行から移行後の運営を軌道に乗せるために、どのような点に注意して進めていくべきなのかポイントを絞って徹底的に解説します 講座 抜粋 ▶ 制度理解に向けたポイント ▶ 保護者対応に向けたポイント ▶ 自治体対応に向けたポイント ▶ 認定こども園移行をゴールではなくスタートするためのポイント ▶ 教職員対応に向けたポイント	株式会社船井総合研究所 教育支援部 齋藤 拳
第4講座	明日からの園運営に直結させる「本日の重要ポイント」 幼稚園として盤石な運営体制を築いていくために明日から経営者が考えたい重要なポイントをお伝えしてまいります。 講座 抜粋 ▶ 園経営の持続性を目指していくために考えたいこと ▶ 明日から始めることができる認定こども園移行への準備 ▶ 今のまま経営するリスク	株式会社船井総合研究所 教育支援部 リーダー 高橋 叡功

開催時間：全日14:00～17:00(受付開始：開始時間30分前～)

2026年**3/4**日(水)
 船井総研グループ 東京本社
 サステナグローススクエアTOKYO
 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号
 東京ミッドタウン八重洲八重洲セントラルタワー35階

2026年**3/6**日(金)
 船井総研グループ 大阪本社
 サステナグローススクエアOSAKA
 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田三丁目2番123号イノゲート大阪21階
 ※2026年1月1日よりイノゲート大阪(梅田)に移転し開催いたします。ご来場の際はご注意ください。

申込期限

・銀行振込み：
 開催日6日前まで
 ・クレジットカード：
 開催日4日前まで

※祝日や連休により
 変動する場合も
 ございます

金額 一般価格(1名様) 税込**33,000**円(税抜 30,000円) 会員価格(1名様) 税込**26,400**円(税抜 24,000円)

※ 会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧：FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。
 ※ 諸事情により、やむを得ず会場を変更場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。また最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。

特別ゲスト講師
 学校法人 横須賀学園
 理事長 竹折 貴子氏
 学校法人横須賀学園 理事長。神奈川県横須賀市で利用定員280名の認定こども園 横須賀若葉幼稚園を運営。幼稚園が子どもたちはもちろんのこと、保護者の皆さまにとって、教職員にとって、そして地域社会にとっても「あかるく、たのしく、げんきよく」幸せな場所であるよう、日々運営を行っている。



株式会社 船井総合研究所 教育支援部
 リーダー 高橋 叡功
 一橋大学大学院経済学研究科修了後、株式会社船井総合研究所に入社。大学院在籍中は公共経済学・財政学や行動経済学を専門にする。入社後は在学中培った調査・分析能力を駆使して、施設型給付幼稚園・認定こども園移行サポートや、園児募集計画策定・実行支援をはじめとする、主に学校法人立の幼稚園や認定こども園への経営全般のコンサルティングに従事している。細やかな数値分析を基にしたコンサルティングスタイルを得意としていて、その精度には定評がある。近年では中期経営計画策定・実行支援のコンサルティングサービスも提供している。



株式会社船井総合研究所
 教育支援部 齋藤 拳
 神奈川県出身。保育所・幼稚園・認定こども園の運営安定化の支援や認定こども園移行のサポートを担当。WEB広告を活用した園児募集のサポートや、公定価格の試算ソフトを活用した収支シミュレーションの作成、そのほか公定価格や処遇改善等加算など加算に関するサポートに従事している。認定こども園移行に関するセミナーや業務改善のセミナーで講師を担当している。



お申込みはこちらからお願いいたします!

スマホ・タブレットの方は右記のQRコードを読み込んでいただきWeb ページにある申込みフォームよりお申込みいただけます。

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください

お申込み HP URL <https://www.funaisoken.co.jp/seminar/137416>

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

TEL：0120-964-000 (平日 9:30～17:30)

船井総研セミナー事務局 E-mail：seminar271@funaisoken.co.jp

お問い合わせ No. S137416



私立幼稚園必見
 2大都市
 来場型
 開催決定!

2026
 年版

認定こども園 移行セミナー

移行後3年連続で園児数を
 増加した取り組みとは

このようなお悩みはございませんか?

- ✓ 直近1～2年の年少入園者数が激減して、預かり保育利用者が激増している
- ✓ 現状の運営形態を残したまま認定こども園移行ができるかわからない
- ✓ 幼稚園としての文化を保って行きたいが、現状に不安を感じている
- ✓ 認定こども園の園児募集体制のいろはが分からず不安である
- ✓ 園舎の建替えはせずに経営状況を改善させていきたい

特別ゲスト講師

学校法人 横須賀学園 理事長 竹折 貴子氏

神奈川県横須賀市で認定こども園 横須賀若葉幼稚園を運営。「あかるく、たのしく、げんきよく」を教育方針とし、認定こども園移行後3年連続の園児数増加に成功している。



来場型
 セミナー
 開催日時

2026年**3/4**(水)
 船井総研グループ 東京本社
 サステナグローススクエアTOKYO

2026年**3/6**(金)
 船井総研グループ大阪本社
 サステナグローススクエアOSAKA

開催時間

両日14:00～17:00
 (受付開始：開始時間30分前～)
 ※講座内容は同じです。ご都合のよい日時を選んでいただきお申込みください。

【2026年版】私立幼稚園向け認定こども園移行セミナー

お問い合わせ No.
 S137416

主催



サステナグロースカンパニーをもっと。
 Funai Soken

株式会社船井総合研究所
 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号
 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー 35 階

当社ホームページからお申込みいただけます。

(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索マークに[お問い合わせNo.]を入力してください)

137416



地域に根差した安定した園運営のために「認定こども園移行」を検討しませんか？

特別ゲスト講師



学校法人横須賀学園

認定こども園 横須賀若葉幼稚園 理事長 竹折 貴子氏

学校法人横須賀学園 理事長。神奈川県横須賀市で利用定員280名の認定こども園 横須賀若葉幼稚園を運営。幼稚園が子どもたちはもちろんのこと、保護者の皆さまにとって、教職員にとって、そして地域社会にとっても「あかるく、たのしく、げんきよく」幸せな場所であるよう、日々運営を行っている。



認定こども園移行を考えたきっかけは「時流に適應する必要性を感じたから」

もともと園の定員や経営は安定しており、当初は認定こども園移行を重要視していませんでした。しかし、時代の変化とともに「働きながらも幼稚園教育を受けさせたい」という保護者のニーズが確実に増えていることを実感しました。「働いていても幼稚園を選べる」という新たな選択肢を社会に示す必要性を強く感じ、認定こども園への移行を決断しました。

移行初年度から2号認定を充足させるカギは「既存の機能」にあり

最大の懸念は2号認定の子どもが集まるかという点でしたが、移行前から実施していた預かり保育の利用者へ丁寧に周知を行うことで解決しました。その結果、想定以上にスムーズなスタートを切ることができ、移行当初から定員は充足しました。定員の充足は安定した収入にもつながり、経営面での不安も解消されました。

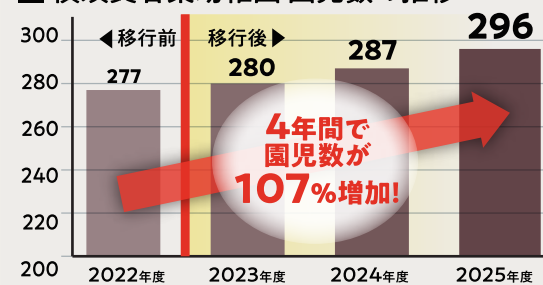
認定こども園移行を改めて考えても「この判断は間違っていなかった」とはっきり感じる

「移行の判断は間違っていなかった」と確信しています。現状は働く保護者の多くが「まずは保育園」「保育園しか選べない」と思い込んでいるケースが少なくない中で、「保育園以外の選択肢」を提供できた意義は大きく、今後はこの点をさらに周知していく予定です。

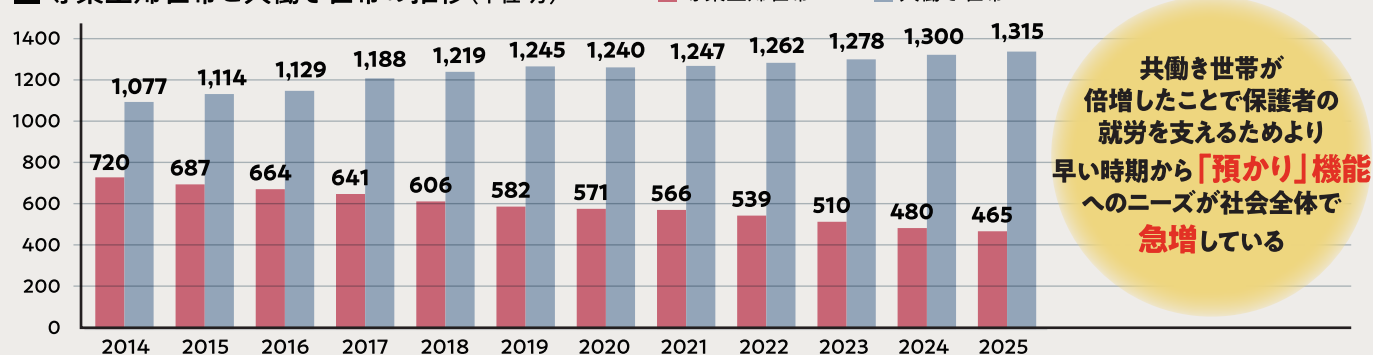
また、共働き家庭がさらに増えることを見据え、2号認定こどもを中心とした安定した保育・教育の提供を継続していきたいと考えています。

上記以外にも、経営安定により職員の給与改善が実現し、離職率が低下したことも大きな成果です。懸念だった書類作成作業も、園内の規程や規則を可視化・整理する良い機会となり、運営の質の向上につながりました。

■ 横須賀若葉幼稚園 園児数の推移



■ 専業主婦世帯と共働き世帯の推移(単位:万)

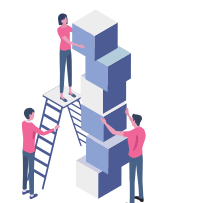


※ 厚生労働省「令和5年版厚生労働白書—つながり・支え合いのある地域共生社会」よりグラフ作成

セミナーでお伝えする内容(一部)

01 認定こども園への移行について

- ▶ 幼稚園業界を取り巻く環境と今後の幼稚園経営の未来
- ▶ 実際に認定こども園移行するために必要な**5つのポイント**とは
- ▶ 建て替えをせずに認定こども園をする際の障壁と解決策移行前に
- ▶ 把握しておきたい認定こども園制度理解
- ▶ **教職員配置**の基本的な考え方とは
- ▶ **保護者対応**に向けたポイント
- ▶ **幼稚園文化**を残したままの認定こども園移行の進め方
- ▶ 認定こども園移行に関して**障壁となる点とその乗り越え方**とは



02 認定こども園移行後の安定した園運営について

- ▶ 移行後の**募集定員の充足を目指していく**ための取り組み
- ▶ 移行後運営が安定するまでの**ロードマップの立て方**
- ▶ 認定こども園移行を**ゴールにしないために考えたいこと**
- ▶ 運営安定化のために考えていきたい**3つのポイント**とは？
- ▶ 認定こども園**移行後こそ考えたい制度理解**に向けて
- ▶ 認定こども園としての**組織体構築**
- ▶ 園運営の**永続性を目指していく**ために考えたいこと



来場セミナー参加者の声

移行への試算は適切に行うことが重要だと感じた。特に最近、実態調査が厳しく行われる傾向にあるので、各種規定、マニュアルの見直しも移行に関わらず行う必要があると感じています。移行に際して処遇改善等加算の配分にも注意を払っていきたいです。



移行するために、行政と相談し、市の意向(市の今後の計画)を伺い、準備していくことが第1歩だと分かりました。



具体的な事例での説明、園運営者ならではの本音や困難だったこと等をしっかり拝聴出来てとても勉強になりました。



従前、運営には様々な挑戦していたが、一度運営が落ち着いてから取り組みが停滞していた。こども園移行を機に見直しをしていきたい。

